



小学校・中学・高校の授業を見る

自主性、課題解決力など一歩先を行く教育

オランダ・フィンランド 教育研修

旅行期間：2015年3月26日（木）～4月3日（金） 9日間

企画：教育家庭新聞

旅行実施：ベストワールド株式会社

観光庁長官登録旅行業第145号

国際航空運送協会(IATA)公認代理店/日本旅行業協会(JATA)正会員

ご案内

フィンランドとオランダ。いずれも、教育が充実した北欧の国で、日本の教育改善のモデルとなる国をご案内します。

フィンランドは日本でもよく知られているように、OECD 学習到達度調査 (PISA)で 2000 年から 2006 年まで学力世界一位となった。教員はすべて大学院卒(修士課程以上)で、授業料は大学まですべて無料。理論的思考力、発想力、表現力、コミュニケーション力が、小学校低学年から毎時間使用されるワークブックに基づいたペア・グループ活動を通して、鍛えられ身につけられていく。学習の遅れた子をケアする制度も整備されている。「子供たちに考えさせることが教師の仕事」とあるフィンランドの教諭が言うように、教科書、その他の多様な教材、読書などを通して深い思考力と問題解決力を育てていく。

オランダも授業料は大学まで無料で、社会福祉制度が整っている国。PISA テストでも上位に入る。オランダの教育で特筆されるのは、一斉授業形式の授業がほとんどないことである。校区はなく、地域の子どもはそれぞれ別の学校に通う。親が子供にあった学校を選ぶが、その教育の選択肢は本当に多様だ。例えば「イエナプラン教育」の学校では、異年齢集団による学習が同じ教室で実践され、互いに教えあい、学びあう。また、「ダルトン教育」の学校では、各時間、自分で決めた教科のグループに入って勉強する。時間割表(何時限に何を学ぶか)も子どもたちで自分で選択し作る。小学校ではオランダ語の音読学習が徹底され、外国語学習は初歩のみ。しかし、中学生になると外国語の原書を読破することが義務づけられる。多数の国民が 3ヶ国語を話し、英語の成績は、TOEFL スコアで世界一位だ。

フィンランドの英語教育

フィンランドでは小学校 6 年生ぐらいになると、英語で簡単な日常会話ができるようになっていく。高校生になると、流ちょうに英語を話すようになる。なぜ、みんな英語が話せるの？フィンランド人に聞くとよく「映画も吹き替えがないんです」という答えが返ってくる。日頃からテレビ放送を通じて英語に親しんでいる。人口 530 万人の「小さな国」のフィンランドにとって、「英語は国の守り発展させる武器」という意識が強い。

フィンランドでは小学校 3 年生から高校まで一貫して英語教育が行われる。自治体によって異なるが、英語の授業は決して多くなく、基本的に小学校 3 年生から中学 1 年生までが週 2 時間、中学 2・3 年生が週 3 時間、高校は 3 年間で週 8 時間である。しかし、教科書の内容は濃い。英語は、ナショナルカリキュラムにより、技能科目、コミュニケーションの手段、他国の文化を学ぶ手段として明確に位置づけられている。生徒は中学校になると英語と第二言語(スウェーデン語)を学び、高校ではロシア語やスペイン語など、複数の言語が履修されている。



オランダの教育

従来の一斉授業は行われぬ。同年齢の子どもたちを、教師が教壇から一方通行的に知識を伝授するのではない、多様な授業形態をとる。「オルターナティブスクール」という非常に進歩的な教育を行う学校があり、その教育は理念・教育方法により、イエナプラン教育、ダルトン教育、モンテッソーリ教育、シュタイナー教育、フレイネ教育の 5 種類がある。こうした新しいタイプの学校は 1970 年代、変動する社会への対応が求められる中で急増し、現在、オランダ国内にそれぞれ 100 校前後から数 100 校あり、オランダ国内の学校の 1 割程度を占める。その他の一般校も、こうした教育を行う学校の良い部分を取り入れた教育を行っている。

オランダはスピノザなどの哲学者、ゴッホなどの芸術家の国。ノーベル賞受賞者も人口の割に多い。戦時中、一部のオランダ人がなぜヒトラーに協力してしまったのかを問う「もし、あなたが 1939 年にドイツの労働者だったら」—そんな課題学習が小中高等学校で日常的に行われ、悪い時代の流れを止めるべきところで止める良識と強さを持つ国民を育成する教育が重視されている。

行程図



ご留意頂きたい点

1. 日程表に記入してあります学校は予定です。実際に訪問する予定の日に訪問可能かどうか打診していますが、予定の日に訪問できない場合は他の学校に変更となります。
2. 国語、社会、英語等の授業を参観致しますが、授業を最初から最後までは参観できないのが普通です。授業の途中から参観したり、授業の途中で終了することが多いのでご了承ください。

日程表〈9日間〉

月日	発着地	時刻	交通機関	摘要	食
3月26日(木)	東京(成田)発 アムステルダム着 ライデン着	10:30 15:20 夕方方	KL-862 専用バス (40分)	各自成田空港へ集合。 搭乗手続き後、直行便にてオランダのアムステルダムへ。着後専用バスにてライデンのホテルへ。 【ライデン泊】	— 機 —
3月27日(金)	ライデン滞在 			■マーレランド小学校又はアポロ小学校(イエナプラン教育)小学校訪問 イエナプランに基づいた教育を実施している。学校が学年別でなく異年齢の子供たちによって構成される。低学年(4~5歳) 中学年(小学校1年~3年)、高学年(4年~6年)の3つに分かれる。 ■ライデン市教育委員会訪問 オランダ最古の歴史を持つライデン大学の町の教育委員会を訪問、オランダの教員養成システム、英語学習についてのレクチャー 【ライデン泊】	朝 — —
3月28日(土)	(アムステルダム)			■ゴッホ美術館・アンネの家 自由研修 ※各自、列車でアムステルダムへ(約30分)添乗員同行。 国立博物館、ゴッホ美術館、アンネの家、ダム広場、王宮等 波乱に満ちた歴史を持ち、日本との関係の深いオランダの首都アムステルダムは魅力に富んだ町です。17世紀に東インド会社の本拠地として隆盛を極めた名残があり、美術館、博物館なども多い。 【ライデン泊】	朝 — —
3月29日(日)	ライデン滞在			■オランダ最古の大学 自由研修 ※ライデン又はアムステルダムで自由研修。 ライデンには1575年に創設されたオランダ最古の大学があり、当時の街並みが良く残されている。幕末の長崎に医師として赴任したシーボルトが晩年日本研究に励んだ街です。 【ライデン泊】	朝 — —
3月30日(月)	ライデン発 アムステルダム発 ヘルシンキ着	11:00 13:55 17:25	専用車 KL-1169	■ダルトン中高等学校(ダルトン教育)訪問 専用車にてアムステルダムへ移動。(40分) 午後、アムステルダム・スキポール空港より、北欧フィンランドへ移動。 【ヘルシンキ泊】	朝 — —
3月31日(火)	ヘルシンキ滞在 			■パッピランベルト小学校 実践的な英語の運用力を重視した授業、教育方法が日本との違い。外国人には英語で話しかける生徒がほとんど。どうしてフィンランド人が学校教育だけでこんなに英語を話せるのか。英語の授業を参観。 ■ロホヤ市立小・中学校 郊外の小・中学校の一貫教育校。一般的な学校だが、個々の生徒に照準を合わせた授業を行っている。 【ヘルシンキ泊】	朝 — —
4月1日(水)	ヘルシンキ滞在			■ビヒティ高等学校 フィンランドで一般的な高校。クラスは無く単位制・5学期制(1学期は6週間)を取っている。職業学校と連携した授業や芸術分野を深く勉強した学生には証明書が授与され、進学する際に非常に有利となる。 【ヘルシンキ泊】	朝 — —
4月2日(木)	ヘルシンキ発 アムステルダム着 アムステルダム発	14:05 15:35 17:50	KL-1168 KL-863	専用車にてヘルシンキ国際空港へ移動。 搭乗手続き後、アムステルダムを経由し東京(成田)へ。 【機内泊】	朝 — —
4月3日(金)	東京(成田)着	12:00		着後各自解散	

※日程に記入した学校は予定です。実際に訪問する日時に英語の授業のある学校などに変更になる場合がありますので、ご了承ください。

※航空機は変更になる場合がございます。

実施要項

●旅行期間

2015年3月26日(木)～4月3日(金)

●旅行経費 ￥336,000.-

●最少催行人数 15名様

●旅行費用に含まれるもの

- ①往復航空運賃(エコノミークラス)
- ②ホテル宿泊代(1室2名基準)
- ③食事代(全朝食付き)
- ④日程記載の移動、研修に要するバス等の交通機関料金
- ⑤学校訪問時の通訳
- ⑥添乗員又は現地アシスタントの費用

●旅行費用に含まれないもの

- ①手荷物超過料金(23kgを超えるもの)
 - ②成田空港使用料及び旅客保安サービス料(¥2,610)
 - ③旅行取扱い手数料(¥8,640)
 - ④任意の旅行傷害保険料
 - ⑤個人的性質の各種費用(土産代、通信費等)
 - ⑥燃油特別付加運賃・空港税・保安税(約¥70,000)
- ※この料金は出発前に変更になる場合があります。

●旅行申し込み方法

添付の参加申込書に必要事項を記入の上、FAX又は郵送にてベストワールド様をお願いします。同時に、申込金(¥50,000)をお支払いください。(旅行費用の内金となります。)

●振込先

銀行名：三井住友銀行 日比谷支店
 口座：当座預金 2102391
 名義：ベストワールド株式会社

●申込締切 **2015年1月26日(月)**

●おことわり

旅行費用は平成26年11月現在の特別航空運賃を基準としております。出発前に大幅な為替変動などがあった場合には、旅行費用が変更となる場合がありますのでご了承下さい。旅行出発便、帰国便は主催者の都合で変更になる場合がありますのであらかじめご了承お願い致します。

●渡航手続き

パスポートは残存期間が出発日から起算して6ヶ月以上あることをご確認願います。有効残存期間が足りない方や、有効旅券を所持していない方は、下記の書類をご用意の上、現住所にある各都道府県の旅券センターにて申請を行ってください。

取得しましたら、旅券申請用とは別に写真1枚と旅券のコピーをベストワールド様にお送り下さい。

1. 戸籍抄本 1通(最近6ヶ月以内のもの)

2. 写真 1枚(縦4.5cm×横3.5cm)

●キャンセルについて

旅行参加申し込み後、お客様のご都合で旅行を取り止める場合は取り消し料がかかります。

*30日前～3日前までの場合 費用の20%

*2日前～当日までの場合 費用の50%

*当日出発開始後及び無連絡不参加の場合 費用の100%

※参加と同時に航空機、ホテル等に予約金が必要とされた場合、前払いする関係上、キャンセルの際、全額の実費がかかる場合がございます。

●規約事項

旅行中天災事変、火災、政府及び公共団体の命令、政変、ストライキ、戦争、暴動、流行病、隔離、税関規則等不可抗力の事由により生じた損害、盗難、詐欺、暴行、傷害等会社及び旅行会社の責任外の事故による損害または参加者が諸法令、或いは公序良俗に反する行為のための生じた損害については責任を負うことは出来ません。

なお航空機、鉄道船舶などの運輸機関の運賃変更、スケジュールの変更が合った場合、その他止むを得ざる事情があった場合などは、経費・日程を変更する場合があります。その他の規約事項は弊社旅行業約款によります。

個人情報保護法にもとづき、申込書に記載された個人情報について、お客様との連絡のために利用させていただくほか、旅行サービスの手配及び、それらのサービスの受領のための手続きに必要な範囲以内で利用させていただきます。また、当社の提携する企業の商品やサービスのご案内、旅行参加後のご意見や感想の提供のお願い、アンケートのお願い、海外旅行のご案内等にお客様の個人情報を利用させていただくことがあります。 総合旅行業務取扱管理者 森 航二

◆お問い合わせ・お申し込み◆

株式会社 教育家庭新聞社

〒111-0053 東京都台東区浅草橋3-1-8 アダックスビル5F

TEL:03-3864-8241 FAX:03-3864-8245

URL <http://www.kknews.co.jp/>

ベストワールド株式会社

観光庁長官登録旅行業第145号/日本旅行業協会正会員

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-7-4

TEL:03-3295-4111 FAX:03-3295-4118

E-mail info@bstworld.co.jp

ホームページ www.bstworld.co.jp/bw/

オランダ・フィンランド教育研修 参加申込書<教育家庭新聞社>

フリガナ 氏名	-----				生年月日	19	年	月	日生	性別	男	女
現住所	〒							電話：()	FAX：()		携帯：()	
E-Mail	@											
緊急時 連絡先	氏名：	続柄：			電話：()							
	〒											
学校名												
*パスポートをお持ちの方は パスポート番号：					発行年月日： 年 月 日							
ローマ字名												
*成田空港近くのホテルでの 前泊希望【 】		旅行中ホテル同室希望者					さん			シングル部屋を 希望する / 希望しない		
後泊希望【 】												